

研究 Keyword

産業精神保健、精神障害、健康心理

プロフィール

2000年 石川県立看護大学 看護学部 講師
2007年 金沢医科大学 看護学部 教授
2013年 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 教授
2018年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 教授

研究分野

精神保健看護学

所属学協会

国際看護学会、日本看護学会、日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本精神保健看護学会、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本産業衛生学会、日本心理学会、日本健康心理学会

専門分野・研究分野

バーンアウトのような目に見えない心理的現象を測定するスケール開発を得意として

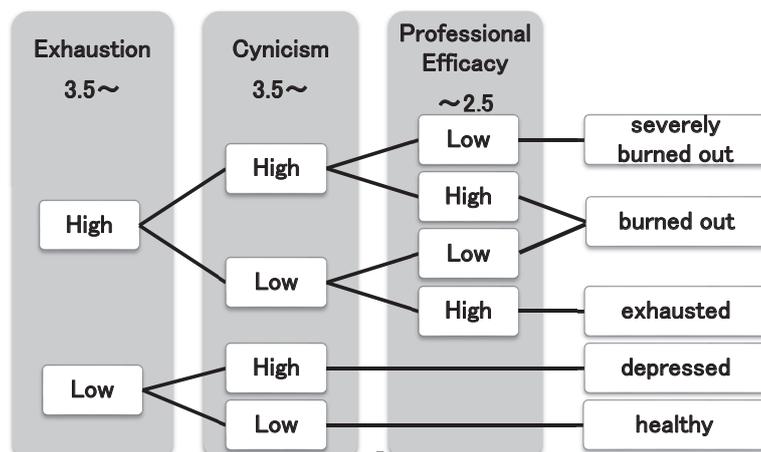
臨床の看護師をしながら、新人の研究者としての道も歩くという生活から、バーンアウトという現象に関心をもった。ゴールド・スタンダードと言われているバーンアウト測定スケール Maslach Burnout Inventory (MBI) の翻訳版を創り、世に発信したことで、看護学・心理学・医学分野の優れたバーンアウト研究者たちと出会い、多くの共同研究をすることができた。そのような機会をさらに持ち続けていきたいと考えている。

研究内容

頑張る人ほど職場から消えていく現実からスタートしたバーンアウト研究、その積み上げ

バーンアウトは、職場のさまざまなストレスに曝されることにより疲弊し、やがて仕事への興味・関心を失い、職場における自己効力感(自分は必要な人間である)までも失くしてしまい、燃え尽きてしまう心理的現象である。このバーンアウトは上述の MBI を用いて測定することができる。現在、回答者の得点から「重度バーンアウト」「バーンアウト」「バーンアウト予備軍」「うつ注意」「健康」の5群に分けることができることを発表している(下記図参照)。

バーンアウトは、職場における仕事の負担、裁量権、報酬、共同体、公平性、価値観という6つの領域におけるミスマッチにより生じると考えられている。このような職場の中のミスマッチを診断する Areas of Worklife Survey (AWS) というスケールの翻訳版も創って発表している。そのため、MBI と AWS の双方を活用したストレスチェックが可能となった。



働く人々のメンタルヘルスを守り隊

シーズ・地域連携テーマ例

- 企業のストレスチェックに関する調査研究

論文

- The role of online ethics consultation on mental health, Ohnishi K, Stone T, Yoshiike T, Kitaoka K, Nursing Ethics, 27, 1261-1269, 2020
- Analysis of the emotional experiences of Japanese Alcoholics Anonymous members striving for sobriety, Kihara M, Kitaoka K, BMC Psychiatry, 19, 1-9, 2019
- Impact of moral sensitivity on moral distress among psychiatric nurses, Ohnishi K, Kitaoka K, et al., Nursing Ethics, 1-11, 2018
- Burnout study of clinical nurses in Vietnam, Nguyen H, Kitaoka K, et al., Asian Nursing Research, 12, 42-49, 2018

書籍等出版物

- 公衆衛生看護学テキスト第4巻公衆衛生活動Ⅱ(学校保健・産業保健)、6章産業における公衆衛生活動の実践、北岡和代：荒木田由美子(編) 医歯薬出版、2014年
- 看護心理学、1章心理学を学ぶ意味、6章看護に役立つ心理学とは、北岡和代：鋤柄増根(編) ナカニシヤ出版、2013年

講演・口頭発表等

- 招待講演：Evidence-based practice of burnout among health professionals, The 3rd INHSP conference, Indonesia, 2019
- 招待講演：相手の心に響く言葉選び、リハビリテーション・ケア合同研究大会、金沢2019
- 特別講演：My 心の健康を見える化する、全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会、2019

競争的資金等の研究課題

- 若手看護師がバーンアウトすることなく就業継続意思を強めるための新プロセスモデル：科学研究費補助金(基盤研究B)、2014-2017
- 働く人々のバーンアウトと循環器疾患リスクに関する縦断研究：科学研究費補助金(基盤研究C)、2011-2013
- 産業領域におけるバーンアウト予防のための介入研究：科学研究費補助金(基盤研究C)、2008-2010
- 産業領域におけるバーンアウトと企業損失に関する縦断研究：科学研究費補助金(基盤研究C)、2006-2007
- 看護職者のバーンアウトと医療事故に関する研究、科学研究費補助金(基盤研究C)、2002-2003

社会貢献活動

- 社会福祉法人なごみの郷 苦情処理第三者委員、理事(2000年-現在)
- 小松市介護保険事業策定委員会、委員長(2020年-現在)
- 小松市国民健康保険運営協議会、委員(2018年-現在)